

# 日本共産党 市会議員団 ニュース

発行  
日本共産党  
川西市議員団  
市役所控室  
TEL740-1111  
内線4020  
議員団直通  
FAX769-1811

市議員  
土谷一郎  
Tel・fax 793-2134  
住田由之輔  
Tel・fax 759-4541  
黒田 みち  
Tel・fax 790-3055  
大塚寿夫  
Tel・fax 793-2243

## 3月議会報告1

三月予算市議会が二月二六日～三月二六日まで開催され、市長の〇七年度施政方針、それにもとづく予算案が審議されました。その主な内容と問題点について報告致します。日本共産党議員団は、総括質問を住田議員が、一般会計予算審査特別委員会には住田・土谷議員が、特別会計予算審査には黒田・大塚議員があたりました。また一般質問は土谷・黒田・大塚議員が行いました。

### 住田議員が総括質問 明らかにした市長の政治姿勢

「平和都市宣言」に基づく 福祉行政について  
住田議員が「福祉優先の施政」を要求したのに対して



市長は「市民の立場に立つことが大切であるということ」「市民に真心を込めて接することです」。住田議員の「福祉の心」とちがいはないと答弁しました。

### 市長II企業の体力強化が個人所得に反映する

#### 市長発言から

「いたずらに過去にこだわるばかりに日本人として生まれて誇りすら忘れ、自信が持てないか・すべて人に任せる状況は、正常ではないと考えるのでございます」と、とはやろうじやないか・あそして、「国際社会の一員として果たすべき役割は何なのかほしい、そういうことでは皆などといった点について、皆さんの協力は得られないと思固たる姿勢を示す必要があります」

#### そして助役は

「福祉だけを優先の枠というふうなことは、今のところ考えておりません」

#### 企画財政部長は

「行政の守備範囲を見直して・個人または地域で出来ないことを行政でやっつけて・補完性の原理だ・」



### 市長II「おもてなしの心」

「おもてなしの心」はいかにも経営者の発想。市民は主権者です。住田議員の違和感があるとの指摘に

#### 市長は

「市民の立場に立つことが大切であるということ」「市民に真心を込めて接することです」。住田議員の「福祉の心」とちがいはないと答弁しました。

### 助役II財政危機の原因は 行政改革の遅れが原因

#### 助役が答弁

財政を困難にさせた原因はH9年をピークにこの7年間で約50億円も減少したことが大きい、駅前再開発や中央北地区での多額の市税投入が原因になっているとは考えておりません。税収入の落ち込みに伴う政策方針の変更や行財政改革への取り組みに時間がかかり、十分に対応しきれなかったことが、現在の厳しい局面を迎えていると考えております。

下の表で示されるように、毎年10億円の資金不足、2011年で50億円に。それを補うために、新行政改革で32億円、基金取崩18億円で財政不足を補う計画です。「行政改革」では職員減、福祉後退・料金値上げです。

	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	合計
歳入歳出差引	△985	△1,170	△1,039	△1,090	△689	△4,973
新行財政改革効果目標額	0	500	900	1,100	700	3,200
基金取崩額	985	670	139	0	0	1,794
実質収支	0	0	0	10	21	
基金残高	2,943	2,273	2,134	2,134	2,134	

## 財政危機を招いたのは身の丈以上の開発優先市政・政府の三位一体改革に大きな原因ではないのか？！

### 債務(借金)の推移

(単位:百万円、年)

	H14	H15	H16	H17	H18	H19
債務総額①	84,015	82,429	89,941	88,881	90,891	91,353
地方債残高(普通会計)	56,064	56,554	51,591	55,745	56,345	55,373
地方債残高(下水道雨水分)	6,361	6,300	6,701	6,848	6,843	6,750
地方債残高(病院繰入分)	1,757	1,644	1,556	1,367	1,197	1,005
地方債残高(ごみ施設川西分)		684	813	1,695	4,108	6,997
債務負担行為(土地公社・整備公社)	19,833	17,247	29,280	23,226	22,398	21,228
基金残高②	9,249	7,105	6,019	4,869	3,709	2,943
債務総額③(①-②)	74,766	75,324	83,922	84,012	87,182	88,410
地方税収入④	21,808	20,471	20,058	20,173	20,396	21,767

開発優先で多額の借金

開発に伴う用地買収で借金

財政困難原因の大きな原因が身の丈以上の見通しのない開発事業を進め、大きな借金をつくった開発優先の失政だと考えます。



三位一体改革は：①国庫補助負担金の廃止・縮減、②国から地方への税源移譲、③地方交付税の見直し＝削減、の三つを一体ですめるもの。財源の一部を地方に移すのと引きかえに、国で行うべき福祉・教育のための国庫補助負担金を縮小・廃止し、地方交付税を削減することで、住民サービスの大幅な切り下げが押しつけられようとしています。

6億円の減収に(07年度分)	
税源移譲	837,972
地方譲与税	△917,000
地方交付税	△266,000
補助金カット	△263,967
合計	△608,995

合計42議案ありますので問題点を指摘した議案と平成19年度一般会計・特別会計予算での各会派の態

議案名	共産党	連合市民クラブ	市政会	智政会	自治市民クラブ	無所属
事務分掌条例の一部改正	賛成討論	賛成	賛成	賛成	賛成	吉田氏反対
職員給与条例の一部改正	反対	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
福祉医療費助成の一部を改正	反対	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
平成18年度一般会計補正予算	反対	賛成	賛成	賛成	小西氏退席	賛成
平成19年度一般会計予算	反対	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
平成19年度国民健康保険事業特別会計予算	反対	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
平成19年度老人保健事業特別会計予算	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
平成19年度農業共済事業特別会計予算	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
平成19年度下水道事業特別会計予算	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
平成19年度介護保険事業特別会計予算	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
平成19年度用地先行取得事業特別会計予算	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
平成19年度水道事業会計予算	反対	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成
平成19年度病院事業会計予算	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成	賛成

松田氏着席(反対)

他の2人は賛成



市長提出議案に対する態度

日本共産党議員団は六議案に反対、三十六議案に賛成

3月市議会には四十二の議案が提案されました。日本共産党議員団は、一議案に問題点を指摘して賛成討論、07年度一般会計予算など六議案に反対し討論。したがって三十三議案に賛成をいたしました。報告は、問題点を指摘した議案、反対した議案、についてその内容を報告します。

「行財政改革」問題点指摘

川西市事務分掌条例の一部を改正する条例の制定について この条例には、「行政改革」を進める審議会の設置が盛り込まれていました。ムダを省き

市民の暮らしを守るための行政改革が望まれますが、今までの「行政改革」は公共料金の引上げや福祉対策の切捨て、職員の削減が中心になっていきます。間違った「行政改革」は止めるべき。と「改革」の内容をただすことを求め賛成討論を行いました。

成果主義賃金制度導入反対

川西市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

一般職給与の昇給を「勤務成績に応じて行う」と記されています。欠勤が多いとか、勤務態度ではなく仕事の「成果」、成果主義賃金制の導入があります。評価は上司が行います。導入した民間企業での調査結果は、上司の顔色をうかがい、職場のチームワークも損なわれるなど良い結果は出ていません。評価や考課に昇級をリンクさせてはならないと反対しました。

高齢者の医療費負担増に反対

川西市福祉医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について

この議案には、こどもの医療費助成を拡充する内容と、高齢者の医療費負担増の内容がひとくくりで出されています。もちろんこどもの医療費の助成拡充は今まで運動を進めてきたもので、その成果です。そのことを明確にししながら、高齢者医療費引き上げは許せません。

予算の使い方に問題あり

平成十八年度川西市一般会計補正予算(第四回)

現在包括支援センターの建物を二千万円遣い解体、そこに、民間保育所を一億五千万円出して誘致、三年間土地を無償提供、その後2%で貸与。栄公立保育所を廃止。さらに、教育情報センターを移転、敷金二千二百万円、家賃年間二千三百万円支払う。こんな無駄遣いでなく、公立保育所を残し、民間に貸す用地に教育情報センターを移転すれば、遙かに公有財産の効果的活用になると指摘。



平成十九年度一般会計予算

住民要求が一定前進した内容

- ◎0歳児の通院時及び0〜12歳の入院時における医療費の自己負担を無料にする。
- ◎広域小児急病センター建設H20年開設。
- ◎高齢者交通費助成(以前の半額であるが住民の運動で一定の前進)
- ◎高齢者外出支援拡大
- ◎猪名川町と共同で消防指令システム構築。

開発優先変わらず 「行革」推進で市民負担増大

開発優先で今年度の借金返済額も51億円市税収入の26%に、財政を圧迫しています。しかし、そこから教訓は学ばず、「行政改革」の取り組みが遅いからと総括、今年度から「新行財政改革」と名称も新たに組みを組みを強化するのです。その内容の中心は、職員定数の削減、公共料金の見直し(引上げ・有料化)、福祉の削減、市民負担の増大です。市長の「市民満足度の向上」からほど遠いものと言わねばなりません。

中央北地区開発では土壌汚染対策で3億円。事業を急いでいます。しかし、全体の事業計画、事業の見直しはありません。汚染対策は必要ですが、計画も立てずに進めるのです。今までの失政の反省はないのです。

保険税大幅引上げ3年目

平成十九年度川西市国民健康保険事業特別会計予算

05年にあまりにも大幅な引き上げを行ったため値上げの激変を緩和せよと議会決議で3年間に分割して値上げをしました。払いたくとも払えない、この5年で短期証発行が6倍以上、資格書発行が17倍にもなっています。保険証がないため医者に行けず、重症化した例が全国で1027件、死亡が25人にもなっています。値上げでなく引き下げをおこなうことです。

定率減税廃止・消費税(市負担・公共料金分)市民負担12億円

市民負担12億円にも(単位千円)	
消費税(市負担分と公共料金で市民負担分)	812,481
定率減税廃止	401,683
老年者非課税廃止	53,437
合計	1,267,601



今年も水道値上げ

平成十九年度川西市水道事業会計予算

命の水、水道料金の値上げです。それだけでなく高い川西市の水道料金、平均25%もの引き上げを行いました。あまりにも負担が大きいと2年間に分けて値上げを実施、今年2年目です。



川西市議会交渉団体						
交渉団体名	幹事長名	所属議員名				
連合市民クラブ	土田 忠	越田謙治郎	安田忠司	津田加代子	小山敏明	多久和桂子
市政会	志礼思無哉	倉谷八千子	上馬 勇	宮地尊士	松田恭男	久保義孝
公明党	志水隆司	江見輝男	平岡 譲	大矢根秀明	岩田秀雄	
日本共産党	住田由之輔	大塚寿夫	土谷一郎	黒田美智		
智政会	吉富幸夫	西山博大	梶田忠勝	安田末廣		
自治市民クラブ	北上哲仁	宮坂満貴子	小西佑佳子			
交渉団体無所属		吉田 進	前田 貢			